

聖霊降臨節第24週 主日礼拝 (宗教改革記念日)

2021年10月31日 第一礼拝 (午前8:30～) 第二礼拝 (午前10:30～) 第三礼拝 (午後2:00～)

前奏			
招きのことば	『ローマ人への手紙』12章1-2節	司会者	
開会の賛美	新聖歌23「父の神よ 夜は去りて」	一同	
信仰告白	『使徒信条』(スクリーン参照)	一同	
代表祈禱		司会者	
聖書朗読	『創世記』22章1-5節 (旧約p.34)	司会者	
黙想	(3分間の換気を行います)	一同	
説教	「 ^{れいはい} 礼拝はささげるもの」	近伸之牧師	
感謝の献金	新聖歌280「神はわがやぐら」1節曲を流してから	一同	
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌63「父 ^{みこ} 御子 ^{みたま} 御霊の」	一同	
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-8)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 集會：沼田佐代子姉	音響操作：近ゆかり姉	献金カゴ：片山勝三兄
第二礼拝	司会：近伸之牧師 集會：長谷川睦子姉	音響操作：近ゆかり姉 渡邊智子姉	中継・録画：近伸之牧師 献金カゴ：片山浩司兄
教会学校	担当：近伸之牧師	聖書：『サムエル記第一』17章	暗唱聖句：『詩篇』56:11
第三礼拝	司会：片山健司兄 (記録：有志)	音響操作：片山初子姉	献金カゴ：猪爪和美姉

今週の暗唱聖句

それで、アブラハムは若い者たちに、「おまえたちは、ろばと一緒^{いっしょ}に、ここに^{のこ}残っていないさい。私と息子はあそこ^{わたくし むすこ}に行き、礼拝をして、おまえたちのところ^{もと}に戻って来る」と言った。

(『創世記』22章5節)

一年間で聖書通読

11/1(月)	『詩篇』145～150篇	『コリント人への手紙 第一』13章
11/2(火)	『箴言』1～3章	『コリント人への手紙 第一』14:1～25
11/3(水)	『箴言』4～6章	『コリント人への手紙 第一』14:26～15:11
11/4(木)	『箴言』7～9章	『コリント人への手紙 第一』15:12～34
11/5(金)	『箴言』10～12章	『コリント人への手紙 第一』15:35～58
11/6(土)	『箴言』13～15章	『コリント人への手紙 第一』16章
11/7(日)	『箴言』16～18章	『コリント人への手紙 第二』1章

個人、団体からの来信 [10/19(火)～25(月)] 2021年10月31日

定期便/学園デー スペシャルナイトのURL/
北新潟キリスト教会より、「秋の文化展覧会・バザー」の案内[10月31日(日)～11月7日(日)]

諸集会の報告

10/24(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性1 幼児女子1 小学女子3 中学女子- 高校女子- 女児計4 成人女性-	
第一礼拝	男3(+視聴2) 女4(+視聴3) 女児(視聴2)	10/27(水) いやしの祈禱会	男3 女5
第二礼拝	男5(+視聴1) 女10(+1)(+視聴1)	10/29(金) しゃべり場タビタ 10/29(金) 金曜祈禱会	※9月の平均 男- 女4 男- 女3
男性合計7(+視聴3) 女性合計12(+視聴4)		※月に一回、書道教室、婦人の集いを開催 ※午後臨時総会を開催。 ※月に二回、月曜家庭集会、読書会を開催	

諸集会のご案内

	※月に一回、書道教室を開催	
	※月に二回、月曜家庭集会を開催	
バルナバ祈禱会	11/3(水・祝) 午後7:30	当番・献金加：有志
読書会	11/4(木) 午前10:00 教会堂	問い合わせ先：猪爪 和美姉
しゃべり場タビタ	11/5(金) 午後1:30 小山 千春姉宅	11～12月担当：佐藤 鈴子姉
金曜祈禱会	11/5(金) 夜 教会堂	
	※月に一回、婦人の集いを開催	

11/7(日) 聖霊降臨節第25週

聖餐第一礼拝	司会：近伸之牧師 午前8:30～ 集會：沼田佐代子姉	音響操作：近ゆかり姉	配餐：近伸之牧師 献金カゴ：有志
聖餐第二礼拝	司会：近伸之牧師 午前10:30～ 集會：笹川清子姉	音響操作：近ゆかり姉	配餐：担当役員 献金カゴ：倉島幹夫兄
教会学校	午後1:00～	担当：佐藤繁実兄	
聖餐第三礼拝	司会：近伸之牧師 午後2:00～ (記録：有志)	音響操作：有志	配餐：担当役員 献金カゴ：猪爪 和美姉
教会学校奉仕	10/31[近牧師] 11/7[佐藤兄] 11/14[片山姉] 11/21[近牧師] 11/28[佐藤兄]		
ゴミ・掃除当番	1週目[佐藤姉] 2週目[小林姉] 3週目[長谷川姉] 4週目[横堀姉] 5週目[初子姉]		
主日の予定	新聖歌：46, 297, 60		

報告

- 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばのメッセージを心に刻みつけて一週間を歩みましょう。
- 本日の予定
午後3時50分より 会堂建設準備委員会 礼拝堂
午後4時～5時半 新潟聖書学園デー スペシャルナイト 感染防止対策としてYouTube配信
- 先週の来会者
10月24日(日)第二礼拝に、新潟聖書教会の高徳智久兄が参加されました。
-

1これらの出来事の後、神がアブラハムを試練にあわせられた。神が彼に「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は「はい、ここにおります」と答えた。2神は仰せられた。「あなたの子、あなたが愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そして、わたしがあなたに告げる一つの山の上で、彼を全焼のささげ物として献げなさい。」

3翌朝早く、アブラハムはろばに鞍をつけ、二人の若い者と一緒に息子イサクを連れて行った。アブラハムは全焼のささげ物のための薪を割った。こうして彼は、神がお告げになった場所へ向かって行った。4三日目に、アブラハムが目を上げると、遠くの方にその場所が見えた。5それで、アブラハムは若い者たちに、「おまえたちは、ろばと一緒に、ここに残っていなさい。私と息子はあそこに行き、礼拝をして、おまえたちのところに戻って来る」と言った。

説教メモ

1. 韓国では教会成長の三条件に「良き説教、良き交わり、良き立地」を挙げる。だが先の二つがなければ最後の条件も意味はない。説教と交わりが出会うところ、それは何よりも「礼拝」である。礼拝は、傷ついた人々がみことばによって癒やされ、癒やされた者が傷なきいけにえとして自らをささげるための場でもある。
2. アブラハムは「試練」を「礼拝」と語った。彼は、神がイサクをよみがえらせてくださると信じていた(ヘブ11:19)が、礼拝を通して問い続けたのは、「自分自身をささげる」(ロマ12:1)ことであった。礼拝は「ささげる」ものである。あなたに礼拝を教えてください。あなたを思い出そう。そして自分は何を次の人々に伝えるのかを。

BSN ライフライン 毎週土曜日 朝5:15～5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホンサービス『でんわ世の光』025(272)3592

11/6(土)「人生のプロデューサーを知って」
ファリア路子さん/お話:原田憲夫牧師



かつて「昼ドラの女王」と呼ばれた女優、松木路子さんことファリア路子さんは、華やかな役者人生の後、妻として、そして母としての人生を歩んできました。明るく笑顔の絶えない路子さんですが、幾多の苦難を通してきたと言います。これまでの半生、また苦しみの中でも喜びに満たされて歩む秘訣についてお話を伺います。

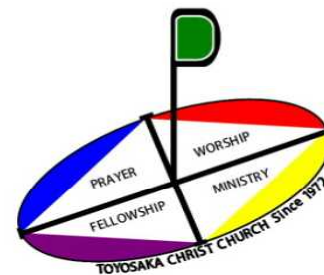


フェルディナント・パウエル「95か条の論題」(1871)

1517年10月31日、修道士であり、神学教授でもあったマルティン・ルターが『95か条の論題』をヴィッテンベルク大学の城門に掲示したときから、いわゆる宗教改革が始まった。当時の教会は、大聖堂の建築資金を捻出するために、「買えば煉獄で苦しむ期間が大幅に短縮される」という「贖宥状(しょくゆうじょう)」をドイツ国内で大々的に売り出していたが、それはまったく聖書に基づかないものだ、という抗議(プロテスト)を行ったのである。その命がけの抗議から始まったプロテスタント教会は、今日も己自身をみことばに照らして、悪に抗議する。

教会目標 「現状をよく考え、主にゆだねる」

「あなたがたの歩みをよく考えよ。山に登り、木を運んで来て、宮を建てよ。そうすれば、わたしはそれを喜び、栄光を現す」
(『ハガイ書』1章7、8節)



日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)
〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>
電子メール: info@toyosakakyokai.net
ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>